

PL/SQL パッケージの使い方と COMMIT 操作

手順. 1

OUT 用引数の受け取り変数の定義

```
SQL> VARIABLE 変数名 データ型
```

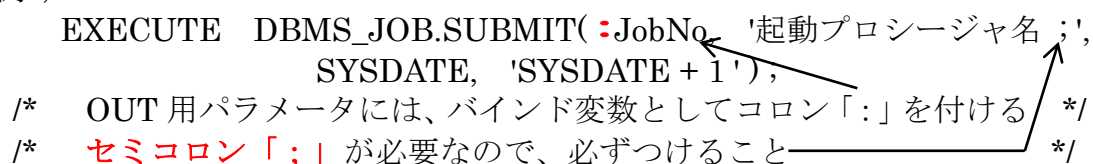
手順. 2

パッケージの起動方法

```
SQL> EXECUTE パッケージ名. プロシージャ名 ( 受渡し引数 ) ;
/* OUT 用パラメータには、バインド変数としてコロン「:」を付ける */
SQL> /
/* この/は、パッケージの実行指示 */
```

(例)

```
EXECUTE DBMS_JOB.SUBMIT( :JobNo, '起動プロシージャ名 ;',
                        SYSDATE, 'SYSDATE + 1' );
/* OUT 用パラメータには、バインド変数としてコロン「:」を付ける */
/* セミコロン「;」 が必要なので、必ずつけること
```



手順. 3

COMMIT の実行

```
SQL> COMMIT ;
```

手順. 4

OUT 用に出力された変数の値の出力表示

```
SQL> PRINT 変数名
```

【参考情報】 PL/SQL の変数値を出力する方法

```
SQL> SET SERVEROUT[PUT] ON
/* 【この設定が無いと、画面出力されないので注意】 */
```

```
SQL> DECLARE
    a NUMBER ;

BEGIN
    SELECT COUNT(*) INTO a FROM emp_table ;

    DBMS_OUTPUT.PUT_LINE( TO_CHAR(a) ) ;
/* a の値が SQL*PLUS 画面に出力される */

END ;
/
```